

藤沢市教育委員会 11 月定例会会議録

日 時 2018 年（平成 30 年）11 月 14 日（水）
午後 3 時 00 分
場 所 藤沢市役所本庁舎 3 階 3－3 会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 議 事
 - (1) 議案第 27 号 市議会定例会提出議案（指定管理者の指定）に同意することについて
 - (2) 議案第 28 号 市議会定例会提出議案（藤沢市学校給食費に関する条例の一部改正）に同意することについて
 - (3) 議案第 29 号 市議会定例会提出議案（平成 30 年度藤沢市一般会計補正予算）に同意することについて
- 5 その他
 - (1) 平成 29 年度体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- 6 閉 会

出席委員

1 番 平 岩 多恵子
2 番 中 林 奈美子
3 番 大 津 邦 彦
4 番 飯 島 広 美
5 番 木 原 明 子

出席事務局職員

| | | | |
|-----------------|---------|-----------------|---------|
| 教育部長 | 村 上 孝 行 | 教育次長 | 神 原 勇 人 |
| 生涯学習部長 | 秋 山 曜 | 生涯学習部参事 | 須 田 泉 |
| 教育部参事 | 佐 藤 繁 | 生涯学習部参事 | 矢 田 洋 一 |
| 教育部参事 | 小 池 規 子 | 教育指導課長 | 窪 島 義 浩 |
| 学校給食課長 | 板 垣 朋 彦 | 学校施設課長 | 山 口 秀 俊 |
| 総合市民図書館長 | 高 橋 眞智子 | 教育総務課主幹 | 須 藤 和 久 |
| 生涯学習総務課主幹 | 井 出 祥 子 | 生涯学習総務課主幹 | 山 口 雄 賢 |
| 総合市民図書館主幹 | 渋 谷 宇一郎 | 教育指導課課長補佐 | 坪 谷 麻 貴 |
| 生涯学習総務課 課長補佐 | 黒 澤 卓 司 | 生涯学習総務課 課長補佐 | 峯 千 鶴 |
| 学校給食課課長補佐 | 菊 地 誠 | | |
| 書 記 | 鈴 木 憲二郎 | | |

平岩教育長 ただいまから藤沢市教育委員会 11 月定例会を開会いたします。
 ÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、3 番・大津委員、4 番・飯島委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
 （「異議なし」の声あり）

平岩教育長 それでは、本日の会議録に署名する委員は、3 番・大津委員、4 番・飯島委員にお願いいたします。
 ÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 続きまして、前回会議録の確認をいたします。
 何かありますか。
 特にないようですので、このとおりに承することにご異議ありませんか。
 （「異議なし」の声あり）

平岩教育長 それでは、このとおりに承することといたします。
 ÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 議事に入ります前に、議案第 27 号市議会定例会提出議案（指定管理者の指定）に同意することについて、議案第 28 号市議会定例会提出議案（藤沢市学校給食費に関する条例の一部改正）に同意することについて、及び議案第 29 号市議会定例会提出議案（平成 30 年度藤沢市一般会計補正予算）に同意することについては、藤沢市議会定例会への提出案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書の規定により、非公開での審議としたいと思いますが、いかがでしょうか。
 （「異議なし」の声あり）

平岩教育長 ご異議がないようですので、議案第 27 号、第 28 号、第 29 号については、後ほど非公開での審議いたします。
 ÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、その他に入ります。
 平成 29 年度体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、事務局の説明を求めます。

窪島教育指導課長 平成 29 年度体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、ご説明いたします。この体力・運動能力、運動習慣等調査は、毎年実施しているもので、平成 29 年度の結果がまとまりましたので、ご報告するものです。（資料参照）

1 趣旨は、国が実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本市の児童生徒の結果を全国、神奈川県の結果と比較・分析し、傾向をまとめたものです。

2 実施状況は、平成 29 年 5 月から 7 月にかけて小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象に実施いたしました。対象人数等については記載のとおりです。調査内容については、小学校、中学校ともに下段に記載しております実技 8 種目と質問紙調査から成っております。本報告では質問紙調査の中から上段に記載しております 6 項目を抜粋し、まとめております。

3 藤沢市立小学校 5 年生体力・運動能力調査の結果については、体力・運動能力調査の結果を一覧表にしたものです。本市の数値で太字になっているものは全国、県を上回っているもの。下線が引いてあるものは全国、県を下回っているものです。男女ともに「握力」「50m走」においては、全国、県の数値を上回っております。また、男子は「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」については、全国、県の数値を下回っております。

女子は「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」が全国、県の数値を下回っております。

4 藤沢市立小学校 5 年生の運動習慣等の結果及び生活と体力・運動能力の関係については、体力・運動能力調査と質問紙調査の結果をクロス集計し、設問ごとにまとめたものです。表の見方として、例えば「(1) 運動部やスポーツクラブに入っていますか。」では、各種目の得点を合計した体力合計点は、運動部に所属する児童の平均は 80 点満点中 56.1 点、地域のスポーツクラブに所属する児童は 55.6 点であるのに比べ、「入っていない」と回答した児童は 49.6 点となっています。

また、総合評価段階ごとの人数の欄では、運動部所属児童は A 評価が 96 人に対し E 評価は 28 人、地域のスポーツクラブ所属児童は A 評価が 195 人に対し E 評価が 83 人となっています。一方、所属していない児童は A 評価が 45 人に対し E 評価が 155 人となっています。このことから運動部、スポーツクラブ等に所属している児童は、体力合計点が高い傾向にあると言えます。この一覧表の結果については、13 ページ以降にグラフ化したものを掲載しておりますので、後ほどご覧ください。

特色として、運動習慣、生活習慣が定着している児童は、体力合計点や総合評価が高い傾向にあります。

18 ページの「調査結果の傾向とまとめ」をご覧くださいと、今回の調査においては、男女ともに力強さの要素である「50m走」と「握力」の 2 種目の数値が高く、一方、動きを持続する能力、タイミングの良さの要素に低い傾向が見られ、課題となっています。この傾向は昨年までと同様の傾向となっております。運動の実施状況、運動への興味・関心は全国や県を上回っている状況にありますが、全国、県に比べ以前低い水準を示す種

目が見られます。動きを持続する能力、タイミングの良さを高める運動の機会を多く与え、日常化していけるような体育学習の展開を工夫する必要があります。また、男女ともにテレビの視聴時間については課題があり、生活習慣改善の指導が引き続き必要です。

5 藤沢市立中学校2年生の体力・運動能力調査の結果では、表は小学校5年生と同様の記載となっておりますが、中学校においては「持久走」か「20mシャトルラン」のどちらかを選択することになっております。中学校2年生の体力・運動能力調査結果については、男子は「持久走」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」において、全国、県の数値を上回っており、女子は「50m走」において全国、県の数値を上回っております。また、男女ともに「長座体前屈」が全国、県の数値を下回る結果となっております。

6 藤沢市立中学校2年生の運動習慣等の結果及び生活と体力・運動能力の関係についても、小学校5年生と同様の記載となっておりますので、後ほどご覧ください。小学校5年生同様、運動習慣、生活習慣が定着している生徒は、体力合計点や総合評価が高い傾向にあります。

26 ページ、下段の「調査結果の傾向」ですが、中学生の調査では体力については男女とも県の水準を上回っているものの、全国よりは下回っています。男女とも力強さの要素である「50m走」の数値が高い傾向にあります。また、男子については動きを持続する能力が高い傾向にあります。男女ともに運動部、地域のスポーツクラブへの所属は、全国、県より低いが、スポーツの総運動時間は全国、県を上回っているなど、運動の二極化傾向が見られます。また、朝食の摂取については昨年よりも上昇傾向にあります。

最後に、7 今後の取り組みについては、大きく3点あります。1点目は児童生徒の取組です。小学校においては「体力テスト取組リーフレット」を引き続き活用し、児童の体力テストへの興味・関心を高めるとともに、小中学校において「体力・運動能力調査記録シート」を活用し、児童生徒が自分の体力や運動能力の把握ができるように努めてまいります。

2点目は学校の取組です。小学校においては体育の授業において運動量を確保することと、休み時間の外遊びにつながる活動を推進します。中学校では課題となっている体の柔らかさを高める運動を意識して、体育の授業の実践に努めてまいります。

3点目は教育委員会の取組です。学校との連携を行い、体育の授業における体力・運動能力の向上について指導と助言を行います。また、家庭と

連携して家庭に調査結果を通知したり、啓発資料を配布したりするなどの働きかけをしていきます。地域との連携としては、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けての各種スポーツイベント等の情報を発信してまいります。さらに施設の整備や用具の拡充など運動環境の整備にも努めてまいります。さらにこの資料は学校へ送付するとともに、本市教育委員会ホームページ上にも公開し、広く市民に周知してまいります。今後も児童生徒にとって運動しやすい環境づくりを推進し、児童生徒の体力の向上に努めてまいります。以上で説明を終わります。

平岩教育長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

飯島委員 昨年度の比較でしたが、ここのところの傾向と今年度の調査結果はほぼ同じだったのかというのが1点目。それから小学校・中学校とも運動部と地域のスポーツクラブの違いを教えてください。

窪島教育指導課長 1点目の昨年等の結果と同じような傾向かということですが、傾向として総体的には変わっておりません。大体似たような傾向が見られます。2点目の運動部、地域のスポーツクラブについてですが、小学校において、この場合、クラブ活動をやっている子どもたちのクラブというふうに考えて分析しております。また、地域のスポーツクラブは、学校の放課後等でやっている私関係のクラブ活動であるとか、土日などにやっている少年野球、少年サッカー等のクラブチームといったものが大きく含まれています。もちろん個人でスイミング等に通っている子どもたちもいると思われることから、地域のスポーツクラブはそのようなものと考えて分析しております。

飯島委員 子どもたちの発達等を考えるときに体力はあるけれども、けがが多い、転んだときに手が出なかったりというようなこともあるので、スポーツの体力の向上と同時に、生活習慣の上で自分自身の体を守るというような基礎的な反射等も含めて小学校、中学校のうちに育ててもらえるとありがたいと思います。

平岩教育長 他にありますか。
ないようですので、報告を終わります。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 以上で、本日、予定しておりました公開で審議する案件はすべて終了いたしました。

委員の方で、前回の定例会から本日までの間で報告事項のある方はいらっしゃいますか。(なし)

それでは、次回の会議の期日を決めたいと思います。12月19日(水)

午後 6 時から、傍聴者の定員 20 名、場所は本庁舎 3 階 3-3 会議室において開催ということでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

平岩教育長

それでは、次回の定例会は 12 月 19 日 (水) 午後 6 時から、傍聴者の定員 20 名、場所は本庁舎 3 階 3-3 階会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開での審議の日程はすべて終了いたしました。

午後 3 時 15 分 終了